令和7年度　全国学力・学習状況調査結果の分析　【村立中学校】

4月に全国学力・学習状況調査（国語・数学・理科・生徒質問調査）が、3年生を対象に実施され、理科・生徒質問調査は、タブレットで解答・回答する形式で行われました。

以下に、本校の今年度の結果の分析をお知らせします。

【 国　語 】

本校の平均正答率は大阪府平均とほぼ同じで、全国平均を少し下回るという結果でした。

領域別に見ると、「話すこと・聞くこと」「書くこと」は大阪府平均をやや上回りましたが、「言語の特徴や使い方に関する事項」「読むこと」については、大阪府平均を下回りました。

問題形式別に見ると、記述式の問題の平均正答率が全国および大阪府の平均を上回りましたが、選択式・短答式の平均正答率は全国および大阪府の平均をやや下回りました。

設問ごとに見てみると、「話の順序を入れ替えた方がよい」という助言の意図を説明したものとして適切なものを選択する問題や、「スライドを使ってどのように話しているのか」を説明したものとして適切なものを選択する問題では、全国・大阪府の正答率より上回りました。一方で「ちらしの中の情報について示す位置を変えた意図」を説明したものとして適切なものを選択する問題や、同音異字として適切なものを選択する問題では課題が見られました。

日々の学習の中で設問に対して記述することには慣れてきていますが、表現の仕方を工夫して書くことも大切ですので、今回の結果を受けて、授業内で記述する機会は今まで通り確保し、記述の種類に富んだ学習課題の設定を心がけ、思考力表現力の充実を図っていきます。また、授業で漢字学習を継続して取り組むことで書ける漢字が増えていますが、今後さらに同音異字などの学習時間を確保し、広く漢字に親しみを持てるようにしていきます。

【 数　学 】

本校の平均正答率は、大阪府平均・全国平均を下回りました。

「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のいずれの領域でも、大阪府平均・全国平均を下回りました。

問題形式別に見ると、選択式・短答式・記述式いずれの問題の平均正答率も大阪府平均・全国平均を下回りました。

設問ごとに見ると、手持ちのカードを使ってじゃんけんをする際の勝ちやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する問題や、四角形が平行四辺形であることの証明を振り返り、新たに分かることを選ぶ問題では、大阪府の正答率をやや上回りましたが、1から9までの数の中から素数を全て選ぶ問題や、連続する三つの3の倍数の和が9の倍数になることの説明を完成する問題では課題が見られました。

今回の結果を受けて、数学的な「知識・技能」に関して、授業の冒頭に行っている小テストなどの実施を今後も継続し、基本的な問題を解く時間をより増やして基礎基本の定着を進めていきます。また、「思考」に関する問題で見えてきた課題については、解けた問題について自分の解き方や、解けていない人に理解してもらうための説明を行う機会を増やし、生徒同士の対話を通じて考える力がつくようにしていきます。

【 理　科 】

本校の平均正答率は、「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」のいずれの領域でも、大阪府平均・全国平均を下回りました。

問題形式別に見ると、記述式の問題の平均正答率は大阪府平均を上回りましたが、選択式・短答式の平均正答率は全国および大阪府平均を下回りました。

設問ごとに見ると、水道水と精製水に関する2人の発表を見て、探究の過程におけるあなたの振り返りを記述する問題や「理科の実験では、なぜ水道水ではなく精製水を使うのかな？」という疑問を解決するための課題を記述する問題では、全国・大阪府の正答率より上回りましたが、電熱線を利用して水を温めるための電気回路について、直列と並列とで回路全体の抵抗が大きい装置や速く水が温まる装置を選択する問題や、地層の性質から水が染み出る場所を判断し、その場所を選択する問題では課題が見られました。

今回の結果を受けて、「疑問を解決する」や「実験の予想結果を書く」など実験や探究活動に用いる科学的思考は、探究授業を行っている成果が表れだしているので、今後も問題解決に向けて仮説を立て、予想し、結果から考察をするという科学的思考力を養うための授業を継続していきます。また、身近なことの中から科学的なことを問われている問題については課題が見られたので、学習する知識がどの身近な場面で使われている知識であるのかを考えて、生活場面とつなげる形で知識の定着を進めていきます。

【 生徒質問調査 】

《肯定的な回答の割合が高い質問項目》

・毎日、同じ時刻に寝る　・毎日、同じ時刻に起きる　・自分には、よいところがある
・将来の夢や目標を持っている　・学校に行くのは楽しい　・友達関係に満足している
・人が困っているときは、進んで助けている　・地域や社会をよくするために何かしてみたい
・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

・PC・タブレットなどのICT機器で文章を作成することができる
・学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている
・学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている
・理科の授業では、自分の予想（仮説）をもとに観察や実験の計画を立てている
・理科の授業で、課題について観察や実験をして調べていく中で、自分や友達の学びが深まったか、あるいは、新たに調べたいことが見つかったか、振り返っている

《肯定的な回答の割合が低い項目》

・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる
・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）1日当たり1時間以上勉強をしている
・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり2時間以上勉強をしている
・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）1日当たり30分以上読書をしている
・国語の勉強は得意だ